

キャンプを取り入れた新入生宿泊研修が女子高校生の自尊感情に与える影響 ～自己評価・他者評価の観点から～

松井 大喜 (生涯スポーツ学科・野外スポーツコース)

指導教員 林 綾子

キーワード: キャンプ, 自尊感情, 自己評価・他者評価

第1章 序論

現在の日本の青少年は国際的に比較して自尊感情が著しく低いことが、報告されている(国立青少年教育機構, 2016). 特に女子高校生が最も低く、荻野(2012)は、女子の方が他者の評価により敏感になることが自尊感情の低下を招くと指摘している. また他者に認められることによって自分のよさを認識し、信頼されているという評価が、自尊感情と大きく関係していると考えられる. 筆者は自身の経験から、キャンプ体験が自尊感情向上に効果があると考えた.

そこで本研究では、キャンプを取り入れた新入生宿泊研修に参加した女子高校生の自尊感情について、自己評価・他者評価の観点から明らかにすることを目的とする.

第2章 研究方法

【対象者】 B大学で実施した2015年4月16日～4月18日の2泊3日のO女子高等学校スポーツコース28名を実験群とし、冒険活動を含むキャンプ活動を行った. また比較群としてキャンプではない宿泊研修を行った幼児教育コース31名を比較群とした.

【調査方法】 調査は、東京都教職員研修センター(2012)が作成した「自己評価シート」に、筆者が独自の記述項目を加えて作成したアンケートを事前、事後、1ヵ月後の3回調査を実施した. また他者評価として「他者評価シート」を用いて、カウンセラーにキャンプ中毎晩記入してもらった.

第3章 結果・考察

自尊感情の変容を分析するため時期と群を要因とする2要因の分散分析を行ったところ2つの因子に有意な変容がみられた(A:自己評価・自己受容, 時期: $F(2,57)=6.06^{**}$, 交互作用: $F(2,57)=10.42^{***}$), (C:自己主張・自己決定, 時期: $F(2,57)=7.42^{**}$, 交互作用: $F(2,57)=8.56^{***}$). 有意な差が明らかとなったため、多重比較を行った(図1). 「A:自己評価・自己受容」は事前から事後に有意な向上が見られ、事前と1ヵ月後の間には有意な傾向が見られた. 「C:自己主張・自己主張」には事前から1ヵ月後に有意な向上が見られた.

キャンプ活動での成功体験や、自分の役割や責任を果たすことが、自尊感情向上に関係あると考えられる. また、教師やカウンセラーなど指導者との関わりが自尊感情の変容に与えた影響が大きかったと考えられ、指導者からの評価や言葉掛けに特に注意を払ってキャンプを行ったことも有意に変容した一つの理由だと考えられる. また有意に向上しなかった「B:関係の中での自己」は、ある程度関係の築かれた集団での質問であり、評価する関係性には達していなかったと考えられる.

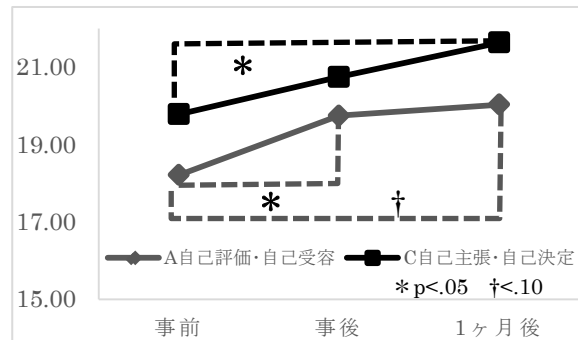


図1. 自己評価因子別得点推移

他者評価の観点から自尊感情の変容を明らかにするため、時期を要因とする1要因の分散分析を行った. その結果、有意な向上(時期: $F(2,29)=10.58^{***}$)があることが明らかになった(図2). また自己評価と他者評価の関係性について分析したが有意な相関はなかった($r=.273, n.s.$).

小さなことにも気づき褒めてあげることが他者評価における自尊感情の有意な向上に影響を与えたと考えられる. 自己評価と他者評価に有意な相関はなかったが、理由として自分では気づいていないところを、他者評価が評価していると考えられる.

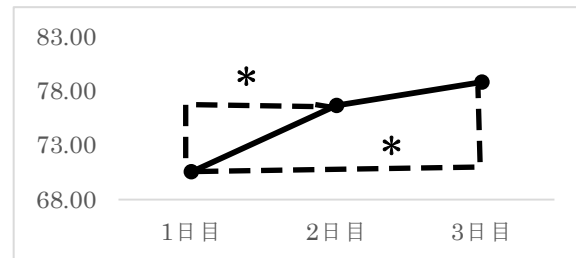


図2. 他者評価得点推移

第4章 今後の課題

本研究ではキャンプを取り入れた宿泊研修が自尊感情の向上に影響を与えたと考えられる. キャンプ内で成功体験を多くできるプログラムを積極的に導入し、グループの中で自分の責任を果たすことのできる役割を明確に設定することが効果的だといえる. また指導者や仲間から褒められることも自尊感情に影響を与えたと考えられる.

他者評価に有意な向上が見られたが、自尊感情を様々な視点から考察するために複数で評価を行うことを検討する必要がある.

第5章 引用文献

- 1)国立青少年教育機構「高校生の生活と意識に関する調査報告書ー日本・米国・中国・韓国の比較」
http://www.nive.go.jp/kenkyu_houkoku/contents/detail/i/98/
(2015/11/29アクセス)
- 2)荻野佳代子(2012)小・中・高校生における自己概念の発達ー自尊感情育成における他者との関係に焦点を当ててー. 教育研究論集, 32:37-42.
- 3)東京都教職員研修センター(2012)自尊感情や自己肯定感に関する研究. 東京都教職員研修センター紀要, 11:3-38.